

土肥 こうすけ

News Letter 2024年 冬(第35号)

土肥こうすけ後援会報紙



発行:土肥こうすけ後援会 発行責任者:出原 逸三 編集責任者:三田 哲治
〒525-0044 草津市岡本町1000番地2(ダイキン工業労働組合滋賀支部内) TEL:077-564-1153

◇ TOPIX ◇

①令和6年11月定例会報告 ②橋川市長との対談

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により被災されましたすべての方々に、心からお見舞い申し上げます。また、尊い生命をなくされました方々のご冥福をお祈りするとともに、深い悲しみにあるご家族や関係者の皆さまに衷心よりお悔やみ申し上げます。一日も早い復旧を願うばかりですが、避難生活が長引くことも予測されます。私たちとしても、被災者の方々が必要とされている支援に応える取組みを実施してまいります。

取り急ぎ、草津市議会として各議員から義援金を募り、日本赤十字社から石川県へ送金することと致しました。

①11月定例会報告(補正予算概要および委員会活動報告)

令和5年11月29日から12月20日の会期日程で11月定例会が開催され、補正予算案や条例案など24件の議案について審議し、全て賛成多数で可決致しました。

また、会期中に私が所属している産業建設常任委員会にて所管事務調査を実施するテーマについて協議し、決定いたしましたので、抜粋して報告いたします。

全ての市立小中学校の体育館等に空調設備を設置



令和6年3月～令和7年2月にかけて、全ての市内小中学校の体育館等に空調設備を設置するため、約18億円の補正予算案が提案されました。

提案理由として、①近年の記録的な猛暑による児童・生徒の熱中症対策と、②災害発生時における広域避難所の防災機能強化対策において年々その必要性が高まってきているため、と説明がありました。

以前から保護者の方々から寄せられていたご要望でもあり、学校教育現場における児童・生徒の健康や、避難時の体調管理を考えると、提案理由の通り、必要性があると判断し、賛成いたしました。

議決にあたっては、賛成多数で可決されました。

草刈り事業にかかるコストダウン手法を調査研究

現在、草津市では道路沿いの草刈りや街路樹剪定にかかる費用として1億円を超えています。

内訳は、**草刈りに約4,500万円**、街路樹剪定に約7,000万円です。

草を刈るという事業そのものは市内の景観維持や、歩行者の安全確保等につながるものであり、必要な事業です。しかし、見方によってはマイナスの状態からゼロの状態に戻すだけの事業であり、コストは低い方が良く考えます。

そこで私は、所属している産業建設常任委員会での調査研究するテーマとして「草刈り事業にかかるコストダウン手法」を挙げました。他のテーマと比較検討した結果、調査項目として採用されました。

今後、約1年間かけて委員会で調査研究し、市の執行部に提言する予定です。



②橋川わたる市長との対談を実施しました

私が所属している会派「市民派クラブ」の仲間とともに、橋川わたる市長との対談を実施いたしました。

私たちが認識している諸課題について、橋川わたる市長はどのような見解を持ち、解決策を考えているのかを聴かせていただきました。

対談が進むにつれて熱を帯びてくる橋川わたる市長の言葉からは、これからも働く者や生活者のために市の課題を解決していくという強い決意を感じました。支援者の皆様と共有いたしたく、抜粋して掲載いたします。

介護離職を防ぐための支援体制をさらに整えていくことについて

会派 今後、「団塊の世代」と呼ばれる世代の大半が「後期高齢者」となり、介護リスクの高まる人口が増大してくることは容易に考えられます。それに伴い、介護離職件数の増加も考えられます。子育て同様、働きながら介護ができる環境整備も重要となってくると考えますが、見解を伺います。

橋川市長 超高齢化で高齢者が増えていくので、包括支援センターの機能強化が必要。専門職人材を投入し相談体制の強化をしていくべきと考えています。

また、一人住まいが増えているので地域の中で助け合いの仕組みを広げ、見守る仕掛けが必要。介護離職については深刻な課題であるため、介護ヘルパーの活用をはじめ、サービス強化の取り組みが必要と考えています。

一方で、介護人材の確保や収入格差の解消などを国に求めていく必要があります。

JR南草津駅 西口・東口の公共交通と自家用車のすみ分け

会派 プリムタウンの開発が進んでいることもあり、JR南草津駅の利用者が増加傾向にあります。駅前発のバスを利用する方々のバス待ち環境改善に加えて、東口ロータリーにおけるバス・タクシーと一般車両の混雑を緩和し、バスが国道1号線まですんなりと出られる状況にしなければならないと考えます。これまで橋川市長が取り組んできた内容とその効果について伺います。合わせて、今後の課題について伺います。

橋川市長 南草津駅での社会実験は成功し、その後警察が朝の国道を越える際の青信号を長くしたことでバスの渋滞が殆どなくなりました。今後は西口の車の待機場所の拡張とおよび東口のシェルター整備を進めていく必要があると考えています。



対談を終えての所感

橋川わたる市長は、これまでの4期16年間、市民を代表して市政を運営し、市の発展と市民福祉の充実に努めてこられ、私からの様々な提言についても真摯に対応し、施策に反映してこられました。今後も、お互いの立場は異なりますが、市民のために両輪となって健幸都市を実現していくよう、尽力していきたいと思えます。



スマホアプリ「LINE」を通じて、上記のような危険箇所の通報や、その他さまざまな地域課題、市政に関するご要望などをお寄せください。

個別チャットで土肥こうすけ本人が対応いたします。

左記のQRコードを読み取るだけでご登録いただけます。